

令和6年度青森県特別支援学校技能検定・発表会
「清掃分野」【応用コース（モップ）】指導マニュアル

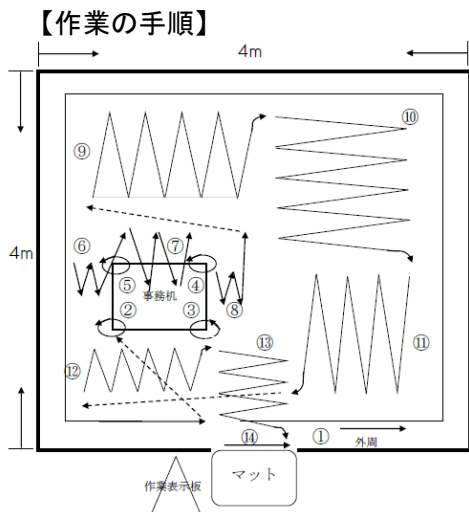
作業項目	イメージ	作業内容	評価内容(★)・指導上の留意点
モップの準備 1 房系の準備	 	①水のいったバケツで房系をぬらす。 ②房系を半分又は3分割にし、片手で横木を持ち、反対の手で手前から手を入れて絞る。 ③房系から水滴が落ちない程度に絞る。 ④絞り終わったら房系をまっすぐに整える。	・モップ用のバケツを使用する。 ・バケツの水はあらかじめ入っている。 ・初めから全て水につける。 ★房系を半分または、3分割にしている（手が小さい場合は3分割にする） ★片手で横木を持ち、反対の手で手前からねじって絞る ・房系の端を手のひらで包むようにすると絞りやすい。バットを握るようなイメージ。 ・絞り終えた房系はバケツの外側に出す。 ★房系から水滴が落ちない ★絞り終わったら、房系をまっすぐに整える ・バケツから床に水がこぼれた場合は、絞った房系で拭く。
2 房系のセット		⑤マット上で房系を柄に取り付ける。 ⑥マットで足を拭き中に入る。	★マット上で行う ★ピンチを開く ★ジョイント部にまっすぐはめる ★しっかり固定する ・作業途中で、ジョイント部が外れないようにする。 ★マットで足を拭き中に入る
モップがけ 3 持ち方及び態度		①モップを持ち、出入り口で「失礼します。」と一礼し、入室の挨拶をする。	★「失礼します。」と一礼する ・審査員に伝わる声の大きさ。 ★親指で柄の先端を押さえる ★反対の手は順手で柄を握る ★壁際を拭く場合は柄の先端を胸の前にする ★中央は体の正面で柄を構える ・モップの柄や房系が壁部分に当たらないようにする。

作業項目	イメージ	作業内容	評価内容(★)・指導上の留意点
4 壁際の拭き方		②幅木に房糸が触れないように拭く。 ③房糸は横木の後ろになるように柄を押しながらまっすぐに進んで拭く。 ④拭いたあとを踏まない。 ※拭いたあとの左斜め後ろを歩く。	★幅木に房糸が触れない ★房糸は横木の後ろ ★押し拭き ★まっすぐ進む(横木は斜めでも可) ★拭いたあとは踏まない ★壁面から柄が外にはみ出していない・幅木に触れない。 ※誤った例 ①房糸が横木より前にある。  ②拭いたあとを踏んで歩いている。

作業項目	イメージ	作業内容	評価内容(★)・指導上の留意点
5 隅の拭き方 (1) 部屋の隅	   	⑤部屋の隅を拭くときは、片膝をつき、肩に柄を担ぐ。 ⑥房糸の右側を手のひらで押さえる。 ⑦指を先行させ、幅木に房糸が触れないように拭く。 ⑧拭き終わったあとは立ち上がり、次の隅まで歩いてふいて行く。	★片膝をつく ★肩に柄を担ぐ ★房糸の端を押さえる ★幅木に房糸が触れない ★壁面から柄が外にはみ出していない
(2) 事務機の下	 【作業の手順】②～⑤  【作業の手順】⑥  【作業の手順】⑦  【作業の手順】⑧	⑨事務機の脚を拭くときは、片膝をつき、房糸を持って脚の周りを拭く。 ⑩事務機の脚の周りを拭き終わったら、立ち上がって事務機と幅木との間を拭く。 ⑪事務機の下を拭く。 ⑫事務機の横を拭く。	★事務機の脚の周りに房糸が触れない ・左回りに拭き、拭き残しの無いようにする。 ・房糸を束ね、脚や事務機に房糸や柄の先が触れないようにする。

作業項目	イメージ	作業内容	評価内容(★)・指導上の留意点
6 中央・出入り口の拭き方		⑬モップを横向きに、拭きあとを重ね、小さく後ずさりしながら拭く。 ⑭房系を真横に動かし、横木を浮かせないように拭く。 ⑮壁にぶつからないように拭く。 ⑯進行方向を変える毎に房系をひっくり返す。 ⑰出入り口は小さく後ずさりしながら拭く。 ⑱出入り口は片膝をつき、房系を持って拭く。	・中央は体の正面で柄を構える。 ★小さく後ずさりしながら拭く ・半歩下がるくらいを目安とする。 ★横木を浮かせない ★真横に房系を動かす ・弧を描かないように房系を真横に動かす。 ★おおむねモップ柄1本分の長さを移動する毎に房系をひっくり返す ・モップをひっくり返すときは中央側でひっくり返す ★拭きあとを少し重ねる ・同じ所を何度も拭いたり、隙間ができたりしないようにする。 ・モップは床から離さず移動する。 ★出入り口は房系を持って拭く ・一度拭いたら、モップを返してもう一度拭く。 ★拭き残しがない ★靴あとが残らない ★正しい手順で拭く
片付け 7 片付け・報告		①出入り口にて一礼し、室内に向かって「失礼しました。」と挨拶をする。 ②房系と柄をマット上ではずし、資機材置き場に戻す。	★「失礼しました。」と一礼する ・審査員に伝わる声の大きさ。 ★資機材を元の位置に戻す

応用コース テーブル拭き種目へ→



【会場図】

